

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

早いもの今年も師走迎えたり  
何事もない平和を祈る

●宮古市 太田屋滋

路譲り「すみません」より「ありがとう」  
心に残る嬉しい一日

●戸田市 久米壽彦

湯気あがる急な寒さや湯豆腐が  
帰宅の父に笑顔あふれり

●平塚市 田中博由

秋深しちぢに物こそ思ひなば  
波瀾万丈人生行路は

●長岡市 近藤 博

まん丸の梵天菊よ花咲く日  
指折り数え秋のひとつき

●綾部市 岩瀧憲一

孫の背を見るや花壇の水仙花  
なにか言いたく小風に揺れて

●愛媛県鬼北町 岸本繁義

俳 句

ボラ飛んで大利根川の秋の暮れ

●神栖市 安澤宏介

澄みわたり手足は凍る大寒す

●鹿沼市 大貫秀雄

紅くれないのもみじに焦点碧あおい空

●小山市 塚野 京

紅葉狩林だ栃だと女連れ

●小山市 原田利江

何となく気を引き締めて今朝の冬

●本庄市 長谷川千鶴子

夫つまと見る皆既月食赤い月

●草加市 長谷部禎子

電線を音符にみたて冬雀

●戸田市 篠崎志津子

どこまでも鉄路照らすや寒の月

●東京都大田区 小池弘一

初仕事防寒羽織はおつてさあ現場

●東京都葛飾区 東海洋一

寒椿小暗き隅に咲きそむる

●小金井市 飯田勝巳

喜寿祝う感謝の言葉天高し

●武蔵村山市 原野晴光

空広く牛は丸丸秋の牧

●塩尻市 大家協治

葉ぼたんの芯渦巻けり紅淡い

●塩尻市 奥原光夫

小坂田や紅葉七色深まりて

●塩尻市 小野正平

银杏や「あったか」の声かたわらに

●塩尻市 町田まさ子

照葉ごし蜘蛛の巣垂し昼閑か

●野洲市 若松能夫

西方の中山寺や薄紅葉

●長岡京市 宮先一雄